



尊厳に満ちたケア、
生きている喜びを感じるケア。

第4回
ゆったりセラピー
研究会

『触れること』 そのものの価値 ～ゆったりセラピーの触れ方から見る 介護医療現場での可能性～

開催日時▼

2016年10月10日(祝月)

12:30～16:30 (開場12:00)

開催場所▼

きゅりあん

(JR 京浜東北線・東急大井町線・りんかい線

「大井町駅」徒歩1分)

参加費▼

7,560円 (会員6,480円) 税込

特別
講演

『触れることの価値』について

講師 山口 創

「手の治癒力」著者、人間科学博士、臨床発達心理士、
桜美林大学リベラルアーツ学群専任教授

主催：一般社団法人ゆったりセラピー協会

尊厳に満ちたケア、 生きている喜びを感じられるケア。

高齢化の進む社会状況の中で、病状を一時的に押さえ込む対症療法的な方法ではなく尊厳に満ちたケア、生きている喜びを感じられるケアがますます必要とされ、現場では様々な模索がされています。緩和医療や在宅医療の中で「触れること」そのものの価値が今、見直されてきているのではないのでしょうか。

誰しもが、1日1日を穏やかに気持ちよく楽しみながら暮らす権利を持っています。

そんな幸せと喜びを「触れられる」ことを通して、いまここにある心と体で感じて頂くための活動を(社) ゆったりセラピー協会は続けています。

今回は、ゆったりセラピストまたは、ゆったりセラピーのメソッドのハンドケアを学んだ方が、世田谷区の「グループホームひかり」で、利用者の方にハンドケアを行い、収集したデータを通して、ゆったりセラピーの触れ方から見る、介護や医療現場での役割や可能性を考察します。

また、触れることの研究では第一人者である、桜美林大学の山口創先生から「『触れることの価値』について(仮)」お話を頂きます。

プログラム内容

◆グループホーム（認知症高齢者施設）でのゆったりセラピーハンドケアによる病状緩和効果、実証実験についての報告

「症状に寄り添うコミュニケーションの実践について」(仮)
森田稔氏（グループホームひかりホーム長）

「ゆったりセラピーハンドケア実証実験の進捗状況の報告」
坂田佳子（(社) ゆったりセラピー協会理事）
加藤朱花（(社) ゆったりセラピー協会認定セラピスト）

「『触れること』の価値について
～実証実験データの発表と考察～」(仮)
お話：山口創先生（桜美林大学リベラルアーツ群専任教授）
コメンテーター：大町かおり先生（長野県医療大学教授）

◆医療現場での「触れること」の可能性(仮)

『触れること』を実際に取り入れている医療現場でのお話

◆パネルディスカッション

司会 鎌田麻莉（(社) ゆったりセラピー協会代表理事）

◆ゆったりセラピー協会のハンドケアボランティアの今後の活動について

坂田佳子（(社) ゆったりセラピー協会理事）

◆懇親会 17:00～18:30（参加費別途）



▼申込み・お問い合わせ▼

<協会サイト> <http://yuttari.org/> 第4回ゆったりセラピー研究会/

<TEL> 080-3385-8038(坂田佳子)

<メール> info@bodyworkjp.org

一般社団法人 ゆったりセラピー協会

〒154-0022 東京都世田谷区梅ヶ丘1-34-1,6-A